



令和3年11月4日
第二管区海上保安本部

貴重な当時の海図印刷用銅版がやってくる！！ ～海図150周年パネル展を福島県、山形県にて開催！～

令和3年（2021年）は、明治4年（1871年）に我が国が単独で、近代技術をもって、海洋調査から海図作製までを一貫して行う本格的な水路業務を開始してから、150周年を迎える記念の年です。

第二管区海上保安本部ではこれを記念し、福島県立図書館及び山形県立図書館において、海図150周年パネル展を開催しますのでお知らせいたします。

今回のパネル展では、明治初期に海図製作で使用した当時の海図印刷用銅板、古海図等を展示するとともに、最新の調査技術による海洋調査などについて紹介いたします。

○開催場所、開催期間

(1) 福島県立図書館（福島県福島市森合字西養山1）

11月5日（金）～12月1日（水）

（火曜～金曜） 午前9時30分～午後7時

（土曜・日曜・休日） 午前9時30分～午後5時30分

(2) 山形県立図書館（山形県山形市緑町1-2-36）

11月10日（水）～12月21日（火） 午前9時～午後8時

（11月15日、21日、29日、12月6日、19日、20日は休館日）

※12月11日に「海を知ってもらおうミニイベント」を実施予定（詳細は後日お知らせ）

○主な展示内容

- ・海図第1号「陸中國釜石港之圖」明治5年刊行 印刷用銅板 ※山形県立図書館にて展示
- ・海図第3号「陸中國宮古港之圖」明治5年刊行 印刷用銅板 ※福島県立図書館にて展示
- ・初代水路局長 柳 檜悦やなぎならよしについて
- ・水路部元測量課長 田山利三郎たやまりさぶろう博士（東北出身）について
- ・明治時代に使用していた測量機器
- ・東北の主要港における海図の変遷
- ・日本周辺3D海底地形図
- ・「海図150年の歩み～黎明から近未来まで～」のビデオ放映

○その他

- ・本記念展示の見学は無料です。
- ・海図150周年に関する情報はこちらのHPでもご覧になれます。

第二管区海上保安本部海洋情報部 HP <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/150kinen/>



○水路記念日

明治4年（西暦1871年）9月12日（旧暦7月28日）に兵部省海軍部に水路局（後の水路部、現在の海洋情報部）が設置されたことを記念してこの日を水路記念日としています。この水路局設置により我が国の本格的な海洋調査・海図作製が始まりました。

※海図は、船舶が安全かつ効率的に航海できるよう、水深、暗礁などの水路の状況、灯台などの航路標識、船舶の運航に必要な情報を掲載している「海の地図」です。



初代水路局長 柳樽悦

○主な展示物



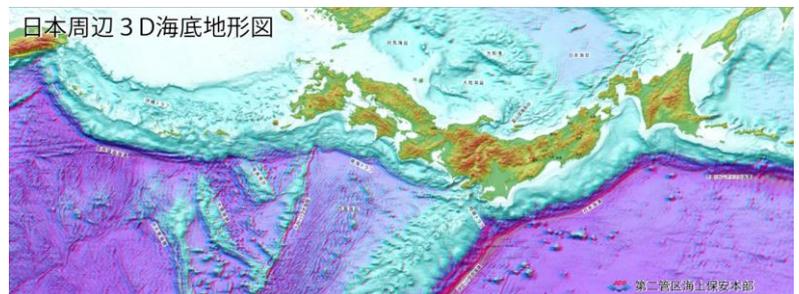
海図第1号「陸中国釜石港之圖」（明治5年刊行）



海図第3号「陸中国宮古港之圖」（明治5年刊行）



海図印刷用銅板



日本周辺3D海底地形図



六分儀：物標や天体の角度・高度を測定する計器



三稜分度器：六分儀で測定した角度を海図に記入する際に使用する器具